



## 卒業証書授与式

3月17日に卒業証書授与式を行いました。11名の来賓の皆様にご臨席いただき、1名の卒業生の巣立ちを見届けていただきました。3月はじめにおこなった6年生を送る会同様、1年生から5年生までの子どもたちは心を込めて式に臨むことができました。卒業生もそれに応えるべく、大きな声で返事をしたり、在校生のみんなに感謝の言葉を伝えたり、とても立派な態度で、大変感動的な式になりました。

校長式辞（下左）、在校生の贈る言葉（下右）、卒業生の贈る言葉（右ページ）を掲載します。

（前略）一人だけの最上級生としてスタートしたこの一年、百穂さんは1年生から5年生が憧れる、優しい、素敵な姿をたくさん見せてくれました。私が去年の4月に志学小学校に来て以来、印象に残っている出来事がいくつかあります。

その一つが修学旅行です。一つ下の5年生たちと過ごす自由な、楽しい時間は学年の違いを感じさせない、とても和やかな関わりをしていました。

ですがひとたび、全員が集まり、集団での行動になるや、その表情は最上級生となり、仲間への目配りや気配りのできるリーダーへと変わっていきました。後輩たちの気持ちに配慮しながらも、適切に指示や注意をする姿に感心したのをよく覚えています。

修学旅行の場面ばかりでなく、先生から任されたことは、忘れないように常にメモを取り続けていた百穂さん。担任の先生に聞くと、「やるのを忘れていました」という言葉は聞いたことがありませんとの返答でした。さらに、「そうした様子から私は百穂さんをととても信頼して、いろいろなことを任せてきました」との、頼もしい言葉ももらいました。

まちづくりセンターでの通学合宿、青少年交流の家で行った宿泊体験でもその姿は見られました。下級生たちの心をつかむのは、こういう配慮ができ、そして行動できるところだと感心しました。

また、熱心に取り組んだ委員会活動は百穂さんを大きく成長させました。最上級生が自分一人で、誰に頼ることもできない中、みんなをまとめることはとても大変だったと思います。それでも百穂さんは常にみんなの気持ちを受け止めながら、自分が出すぎることもなく優しくリードし、またメンバーの考えや気持ちを上手に聞き出し、その活動を盛り上げることができました。

6年間の学校生活をとおして、百穂さんが育んできたその優しさや気配りの姿は、百穂さんの一番の宝物です。いつまでも大事に持ち続けてほしいと思います。

さて、志学小学校を巣立ちゆく百穂さんに、私からはなむけの言葉として、大切にしてほしいことを、一つだけお話ししたいと思います。

それは、「自分の誇れるものを作る」ということです。

現代、そしてこれから先の時代は何が起こるか分からない、予測不能で不透明な時代と言われます。インターネットやSNSでは正しいかどうか分からないような、さまざまな情報があふれています。平和で穏やかに暮らしていた毎日が、些細な出来事がきっかけで壊れてしまう可能性がある。これからはそんな時代になる、と予測している学者もたくさんいます。

そんな時代を生き抜いていくためには自分に自信と誇りをもつことがもっとも大切だと考えます。自分の身を助ける、これだけは人に負けないと思えるような「誇れるもの」をもつことが重要です。（中略）

百穂さんも「誇れるもの」、「これだけは人に負けないもの」を早く見つけ、そして磨き、自らの人生を支え、創り上げてほしいと願っています。（以下略）

卒業生の百穂さん、ご卒業おめでとうございます。

振り返ると、楽しかったこと、うれしかったこと、たくさん思い出がよみがえってきます。

今年のスローガンは、「いつも元気で みんなにやさしく 協力しあって あきらめない志学の子」

スローガンに向かって、心一つにがんばりました。

最後まで力を出し切った運動会。

2日間をともにすごした宿泊体験学習。

全校で美しい歌声を響かせた連合音楽会。

大勢の前で堂々と表現した文化祭。

いつもみんなをはげまし、中心となって、活躍された百穂さんに感謝の言葉を贈ります。

給食当番では、いつもテキパキと働いておられました。

台ふきやバケツの仕事があるときは、「今日は 台ふきだよ」などと教えてくださったので、忘れずに仕事をすることができました。

そうじでは、ほうきのはき方を教えてくださいました。上手にできるようになって、うれしかったです。

運動会では、応援の歌や振り付けを優しく教えてくださいました。

赤組のリーダーとして、みんなをまとめ、全力で競技をしたり、誰よりも大きな声で応援をしたりしておられました。そんな百穂さんを見て、私もがんばろうと思いました。

宿泊体験学習の山登りでは、足が痛くて辛かった時、一緒にしりとりをしてくださいました。おかげで、つらい気持ちが消えて、楽しく山を登ることができました。

スキー教室では、難しい技を、百穂さんはすぐにできていて、すごいなと思いました。私も百穂さんのようにスピードに乗って走ることができるようになりたいです。

元気もりもり委員会では、みんなの意見を聞きながら話し合いを進めてくださいました。たくさんある活動も、時間内に終わるように声をかけておられました。

いつも責任感をもって仕事に取り組む姿は、さすが6年生だなと思いました。

思い出に残る修学旅行。原爆資料館で戦争について学び、「平和な未来を築いていく」と文化祭のステージで、6人で誓いました。一緒に行った北三瓶小学校の人ともなかよくなり、宮島やみろくの里で楽しい思い出をたくさん作ったことは、忘れられない思い出です。

1年間、ぼくたちを引っばってくださいって、ありがとうございました。

これからは、ぼくたちが百穂さんのあとを受け継いでしっかりがんばります。



在校生のみなさん。すてきな言葉をありがとうございました。  
 今日でわたしは、志学小学校を卒業します。  
 平成31年4月 大きなランドセルを背負い、小さな胸をドキドキさせながら入学した、あの日。泣いたり、笑ったり、いろいろな思い出で胸がいっぱいです。  
 この6年間で、わたしは心も体も大きく成長し、いろいろなことを学びました。  
 私の小学校生活の中で、一番に残っていることは、六年生の時の修学旅行です。修学旅行に行く前は、わくわくしたり不安もありました。ワクワクしていた理由は、北三瓶小学校と行ける事や戦争のことをたくさん知ることができるからです。不安に感じていたことは、班のみんなをまとめたり、集合時刻に間に合うように行動したり、班の人数確認をしたりするなど、班長としての役割をきちんと果たせるかどうかでした。  
 いよいよ修学旅行当日、私は、バスに乗るときなどきちんと人数確認を行ったり、時間を見て集合時刻に間に合うように、皆をまとめたり、指示を出したりすることができました。その結果スケジュールどおりに修学旅行が進みました。  
 原爆資料館では、実際に被爆した人の服が展示されていたり、当時の様子が絵で描かれていたりしていました。また、原爆症を発症した人の写真や、回復を願って鶴を折り続けた、佐々木禎子さんの写真を見て、私はどれだけ戦争や原爆が悲惨なものなのかを感じました。  
 私はこの修学旅行をとおして「自分の役割を果たすこと」「時間を守ること」そして、「戦争の悲惨さ平和の大切さ」を学びました。今後の中学校の生活で、自分の役割に責任を持ち、相手のことを考え、思いやりを持って行動していきたいです。  
 今日、こうして卒業の日を迎えることができました。  
 お父さん。お母さん。先生方。地域のみなさん。やさしく見守ってください、本当にありがとうございました。  
 在校生のみなさん。どんなときも支え合える仲間を大切に、力をあわせ、この志学小学校を、ますます、明るく楽しい学校にしてください。  
 わたしもこれまでの思い出を胸に、中学校へ旅立ちます。

## 第3回学校運営協議会

2月27日に今年度3回目の学校運営協議会を開催しました。先におこなった学校評価の結果を受け、校内各分掌で検討した次年度への改善策等について説明し、ご意見をいただきました。タブレットを有効に活用した教育活動の推進、ならびに興味や得意分野を伸ばす指導について支持をいただきました。一方で、すこやかウィークの結果や評価値が低いことについて、弾力的な目標設定の仕方、設問そのもの見直しなどについてご示唆をいただきました。学校からも、「志学ならではの体験・生き方を大切にする教育の推進」、「志学発社会に通ずる人間の育成方法」の確立を、学校と家庭、地域とで進めていきたい旨をお話しし、会を終えました。委員の皆さま、今年1年ご支援いただき、ありがとうございました。

### 今後の予定

日	曜	行事
24	月	修了式 離任式
25	火	学年末・始休業（～4/7）
4/8	火	着任式 始業式
9	水	入学式
17	木	全国学力調査

### 6年生を送る会を開催しました

6年生に感謝を届け、また一緒に思い出を作ろうという目標を掲げ、1年生から5年生までが一丸となって企画、運営に取り組みました。楽しいゲームや各学年の出し物、思い出スライドなどで6年生を楽しませてくれました。至るところにおもてなしの心が散りばめられており、一緒に参加している私たちにとっても心地よい1時間でした。

